

1.2 堺浜

活性化コンセプト:「環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成」

【課題1】 自然環境の再生・創出

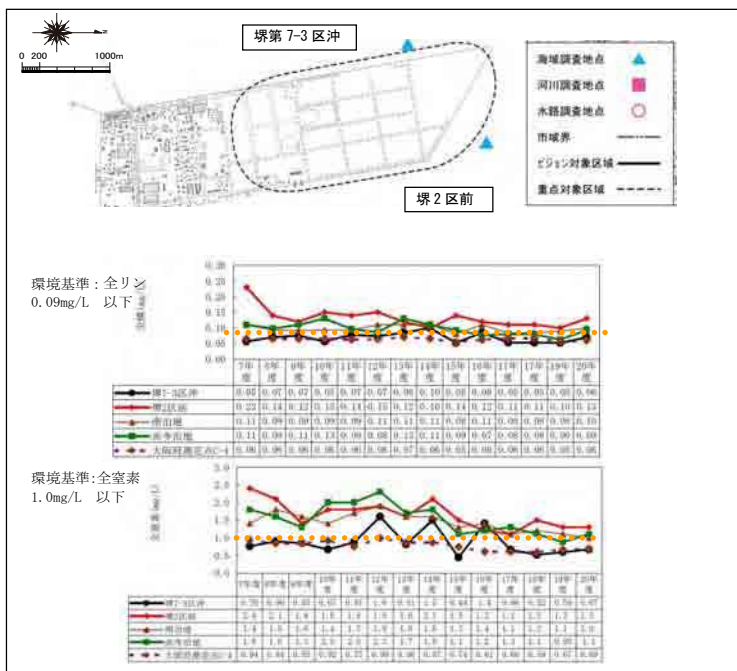
堺浜周辺には、窪地が存在することによる海域低層の貧酸素状況を引き起こし、**水質が低下**している可能性があります。

堺浜においての水質調査結果によると、全窒素および全リンが**環境基準を上回っており生物の生息環境に相応しくない条件下**にあります。

市民のニーズからは水と触れ合うことができる場所を望む声が上がっているものの、良好な水質環境は確保できておらず、ヘドロの浚渫等による**水質改善**を望む声も上がっています。

水質改善の取組みのひとつとして、北泊地において生物共生型護岸の実験が行われており、継続的なモニタリングが実施されています。

以上より、堺浜においては「**自然環境の再生・創出**」が必要です。



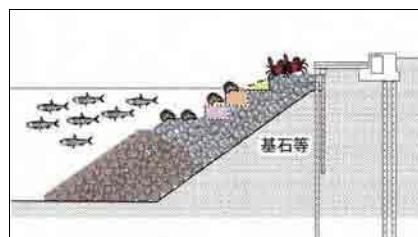
出典：大阪湾再生行動計画 平成16年度から平成21年度までの活動報告とりまとめ

図 環境基準を上回る水質調査結果

【課題2】 地球環境問題対応への期待

堺市では市街地中心部を中心に**ヒートアイランド現象等が問題**となっており、堺浜は海域を利用した**地球環境問題への対応**が期待されています。

堺浜では生物共生護岸の整備、大和川河口部の汽水域を活用した生物生息空間の保全・向上等、**生物多様性保持への取組み**が行われていますが、臨海部には緑地面積に比べて生物の生息数が少ない等の指摘もあり（自然保護系NPO）、今後も生物多様性の確保に向けた一層の努力が求められています。



出典：国土交通省近畿地方整備局IPより

図 生物共生護岸のイメージ



出典：大阪湾再生計画IP

図 大和川河口部の汽水域

一方、市民ニーズからは**環境改善・保全活動**に対する期待の声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**地球環境問題への対応**」が必要です。

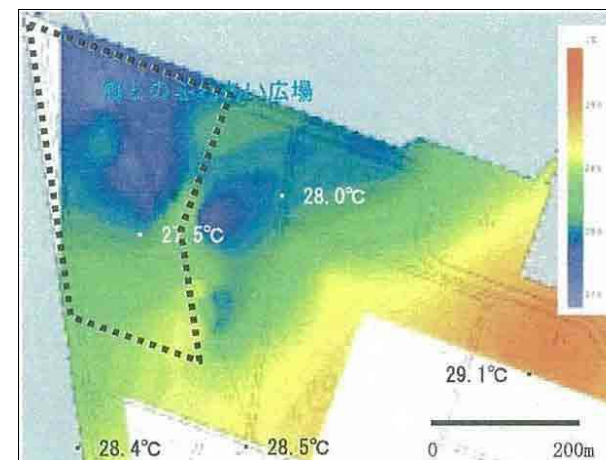


図 堺浜におけるヒートアイランド現象対策調査結果

【課題3】 大阪湾再生のモデル地区としての情報発信、実験・研究機能の強化

堺浜では、臨海部企業と大学が連携して「エコロジー研究所」を設置しており、企業現場で起こる様々な環境問題を中心にして、**大学の研究者や学生と企業内の開発・設計者、製品製作現場の技術者との共同研究を第一の目標にしつつ、地域の行政関係者や各種の団体（NPO）に関わる人との交流を進めながら**、環境問題に関する様々な問題に取り組んでいます。また**国・大学・NPO 等が環境再生の研究・実験・継続的な海域調査を実施**しています。また、堺市は「堺エコロジー大学」を設立し、**低炭素都市「クールシティ・堺」を実現し、持続可能な社会の構築に向け、産学民官の連携による新たな環境教育・人材育成の事業を推進**しています。以上より、堺浜においては「**大阪湾再生のモデル地区としての情報発信、実験・研究機能の強化**」が必要です。



図 グリーンフロント 堺・太陽光発電（現況）

【課題4】 静穏な北泊地を活かした市民・来訪者が海と触れ合える場の創出

大阪湾周辺の水際線の親水性のレベルをみると、尼崎西宮芦屋港や貝塚市以南では水辺に近づくことができる水際線が一部残っているのに対し、堺泉北港、大阪港、神戸港の港湾区域の水際線は親水性の低い地域が多数を占めており、**親水性に乏しい状況にあります**。大阪湾周辺の水際線に位置する港湾緑地をみると、堺2区、堺第7-3区において港湾緑地が整備されており、他地域に比べて同程度の整備状況にあります。

先端緑地は基幹的広域防災拠点に位置づけられており、憩いの場やドッグランができる場として**広く市民に利用されています**。

一方、市民のニーズからは、**水質改善を行い、親水性を高めることが重要、市民の憩いの場の創出を求める**という声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**静穏な北泊地を活かした市民・来訪者が海と触れ合える場の創出**」が必要です。

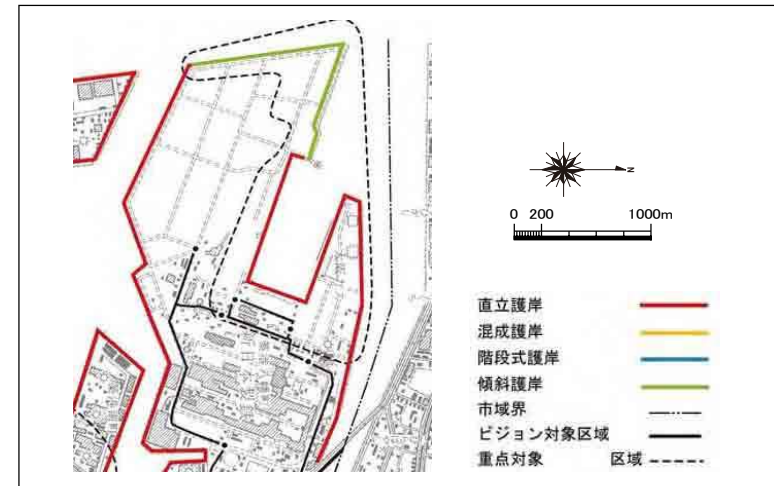


図 堺浜の護岸の形状

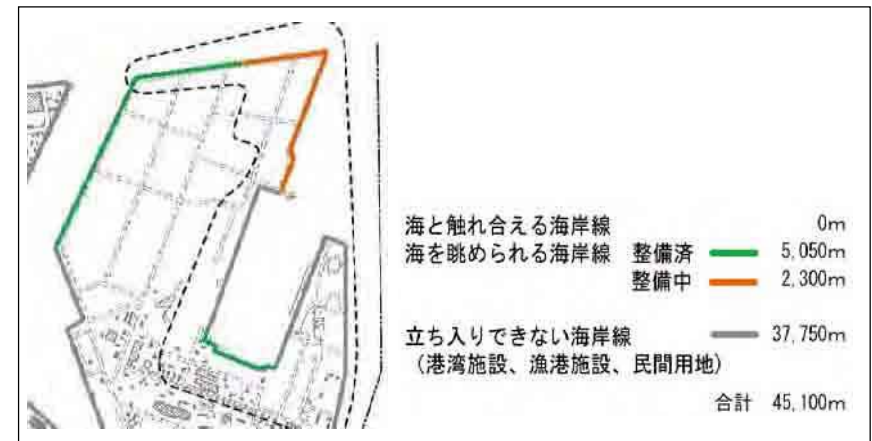
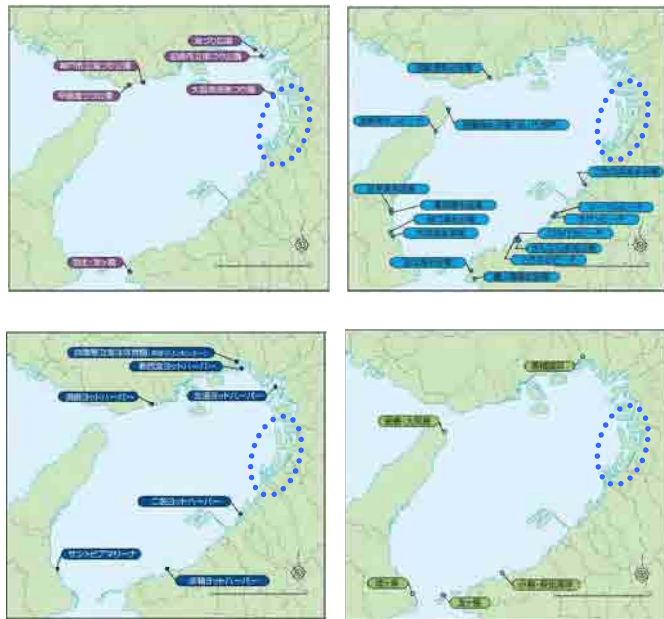


図 親水性護岸の整備状況



出典：各港湾計画図における水際線に接する緑地より抽出

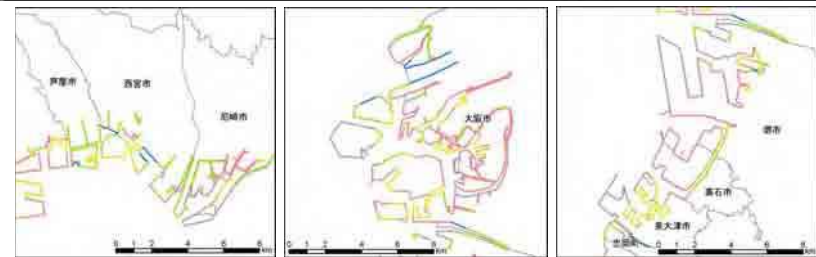
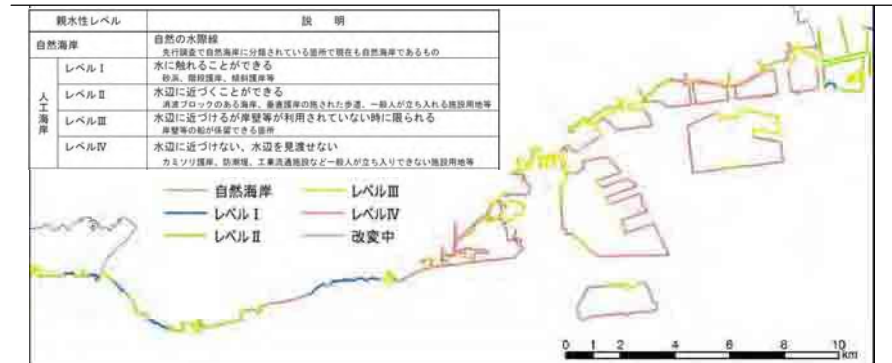
図 大阪港周辺の海に近づくことのできる水際線



出典：大阪湾環境データベース

図 大阪湾周辺の主なレクリエーション施設

(左上：海釣り園、右上：海水浴場、左下：マリーナ・ヨットハーバー、右下：海岸景観)



出典：大阪湾ベイエリア開発推進機構 「なぎさ海道」における整備状況調査

図 大阪湾周辺の親水性の現況

【課題5】 ウォーターフロントの賑わいづくり

堺浜は、近年になり本格的に商業アミューズメント施設・J-GREEN 堺などの土地活用が始まっているものの、いまだ**未利用地が存在しています**。また、環境・先端産業などの観光資源を有しています。

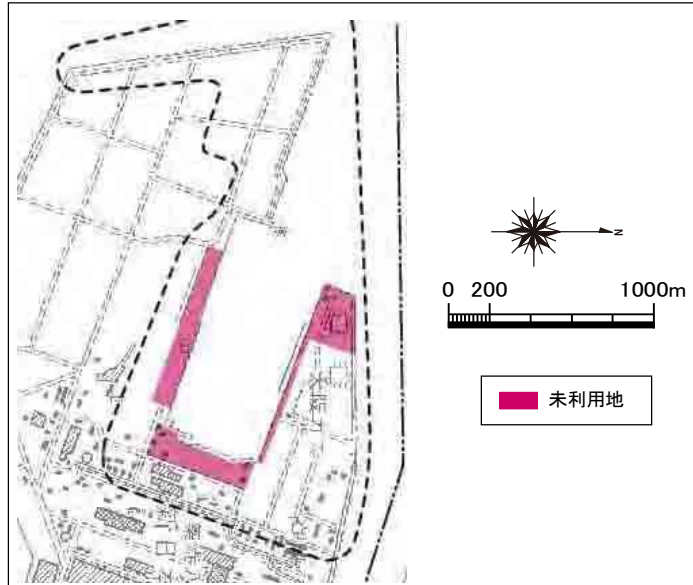


図 堺浜に存在する未利用地

市民のニーズからは、スポーツ施設等の整備推進などを含む**未利用地の有効活用、未利用地での巨大イベントの実施等**により活性化を望む声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**ウォーターフロントの賑わいづくり**」が必要です。



図 J-GREEN 堺での活動風景

【課題6】 レクリエーション拠点としての景観向上

堺浜には**大規模な商業施設やスポーツ施設等が整備**されており、堺臨海部のレクリエーション拠点としての機能が期待されています。一方で、**ゴミの漂着により景観が損なわれる地区や未整備の地区**があります。また平坦な敷地であるため、良好な視点場が多くありません。

また市民のニーズからは、**臨海部の環境・景観を改善**することで、親しみが持てる場所を創出することを望む声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**レクリエーション拠点としての景観向上**」が必要です。



図 堺浜に立地している大規模商業施設



図 漂着したゴミにより景観性が損なわれた堺浜

【課題 7】 市街地からのアクセス確保

堺浜の最寄り駅は南海七道駅または堺駅であるが、いずれも駅から徒歩で堺浜に**アクセスするには距離が離れすぎており**、徒歩では最寄り駅から約60分程度を要します。公共交通網によるアクセスはバスの利用に限られています。J-GREEN 堺には多くの利用者が訪れており、堺浜への**アクセス手段の確保の需要**は存在しています。

市民のニーズからも、臨海部は中心部から離れているため、**アクセス性の向上**を望む声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**市街地からのアクセス確保**」が必要です。

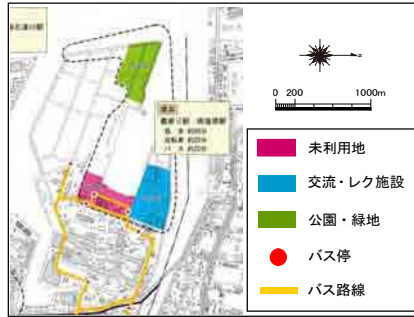


図 堺浜までのアクセス方法

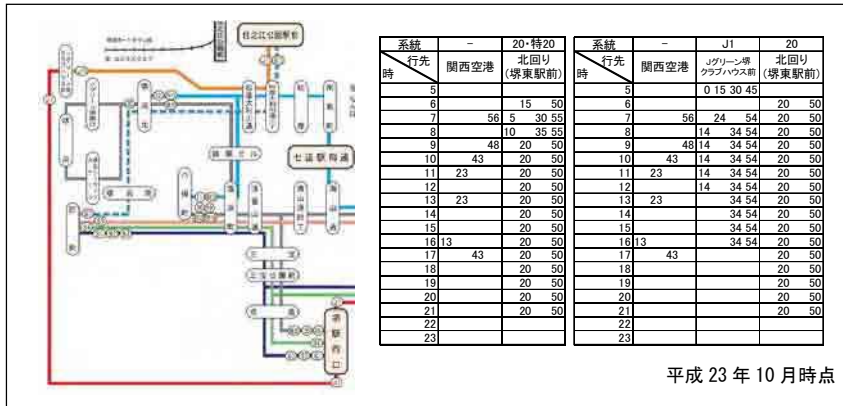


図 堺浜方面へのバス路線図と運行状況

<コンセプト実現に向けた課題（堺浜）>







課題①：自然環境の再生・創出
 課題②：地球環境問題対応への期待
 課題③：大阪湾再生のモデル地区としての情報発信、実験・研究機能の強化

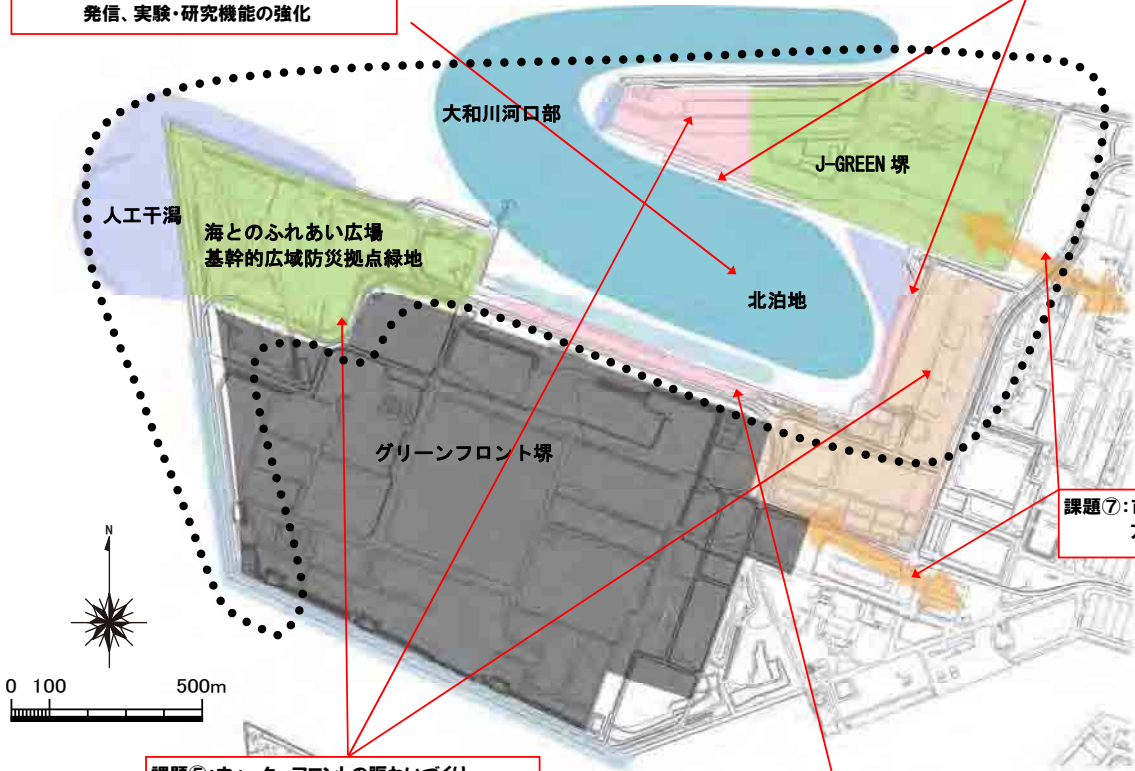
課題④：静穏な北泊地を活かした市民・来訪者が海と触れ合える場の創出

課題⑦：市街地からのアクセス確保

課題⑤：ウォーターフロントの賑わいづくり
 課題⑥：レクリエーション拠点としての景観の向上

課題④：静穏な北泊地を活かした市民・来訪者が海と触れ合える場の創出

	未利用地の活用に関する課題		親水性の確保に関する課題
	公園・緑地の活用に関する課題		アクセス性の確保に関する課題
	賑わいづくりに関する課題	対象区域
	自然再生と水質改善に関する課題		



課題①：自然環境の再生・創出
 窪地が存在することにより、**水質が低下**している可能性がある。
環境基準を上回っている箇所もあり、生物の生息環境に相応しくない条件下にある。
 市民のニーズからはヘドロの浚渫等による**水質改善**を望む声も上がっている。
水質改善の取組のひとつとして、北泊地において生物共生型護岸の実験が行われている。

課題②：地球環境問題対応への期待
 海域を利用した**地球環境問題への対応が要請**されている。
 堺浜では生物共生護岸の整備、大和川河口部の汽水域を活用した生物生息空間の保全・向上等、**生物多様性保持への取組**が行われている。
 市民ニーズからは**環境改善・保全活動**に対する期待の声が上がっている。

課題③：大阪湾再生のモデル地区としての情報発信、実験・研究機能の強化
国・大学・NPO等が環境再生の研究・実験・継続的な海域調査を実施している。

課題④：静穏な北泊地を活かした市民・来訪者が海と触れ合える場の創出
 大部分は直立護岸で、海と触れ合える場がなく、**親水性に乏しい**。
 先端緑地は**広く市民に利用**されている。
 市民のニーズからは、**水質改善**を行い、**親水性を高めることが重要、市民の親い場の創出を求める**という声が上がっている。

課題⑤：ウォーターフロントの賑わいづくり
 商業アミューズメント施設・J-GREEN 堺などの土地活用が始まっているものの、
 いまだ**未利用地が存在**している。
 市民のニーズからは、スポーツ施設等の整備推進などを含む**未利用地の有効活用、未利用地での巨大イベントの実施等**により活性化を望む声が上がっている。

課題⑥：レクリエーション拠点としての景観向上
大規模な商業施設やスポーツ施設等が整備されており、レクリエーション拠点としての機能が期待されている。
ゴミの漂着により景観が損なわれる地区や未整備の地区がある。
臨海部の環境・景観を改善することで、親しみが持てる場所を創出することを望む声が上がっている。

課題⑦：市街地からのアクセス確保
 公共交通網による**アクセスはバスの利用に限られて**る。J-GREEN 堺には多くの利用者が訪れており、**堺浜へのアクセス手段の確保の需要は存在**している。
 市民のニーズからも、臨海部は中心部から離れているため、**アクセス性の向上**を望む声が上がっている。

図 コンセプト実現に向けた課題（堺浜）